

一体感で「四国観光」売ろう

旅行業10社が語る わが社の販売戦略

現状

（司会）山口恒明本社社長）景気が後退する中で、四国の観光も例年より低迷期にある。四国観光の「今（現）状」について、各社から現状を語り、今後の戦略について語り合おう。

山口恒明本社社長）景気が後退する中で、四国の観光も例年より低迷期にある。四国観光の「今（現）状」について、各社から現状を語り、今後の戦略について語り合おう。

観光資源を「線」で結ぼう

四国ブーム起こす 域内送客に力を 地域振興を全社で 誘致へ旅館と一丸

田辺 沖本 西田 六車

「開閉する取り組み、各宿泊施設も宿泊のお客さまに告知よく回るにはレンタカーまたは、夕食後館外に出て道後温泉街を堪能していただく環境を整えている。商店街も夜10時頃までオープンし、さあ、さあ、さあのお客さまをお待ちしています。」

（司会）山口恒明本社社長）景気が後退する中で、四国の観光も例年より低迷期にある。四国観光の「今（現）状」について、各社から現状を語り、今後の戦略について語り合おう。

「域内送客」に力を、地域振興を全社で誘致へ旅館と一丸。田辺 沖本 西田 六車。四国ブームを起こすために、各社が連携し、域内送客を促進し、地域振興に貢献することを目指している。

若者のニーズある市場絞りアピール “周年”で送客に力

桜田 宇田川 百田

「若者のニーズある市場絞りアピール “周年”で送客に力」。桜田 宇田川 百田。各社が若者のニーズに応じた商品を開発し、周年イベントを通じて送客を促進している。

座談会出席者

（順不同・敬称略）



ジェイティービー 西日本国内商品事業部四国地域統括部長 田辺 浩一



近畿日本ツーリスト 国内旅行部中四国仕入メイトセンター所長 沖本 節男



日本旅行 四国仕入販売センター所長 西田 三徳



トップツアー 国内旅行部中四国国内旅行センター長 近藤 功



東武トラベル 企画仕入部西日本仕入センター副総務担当リーダー 荒木 忠司



名鉄観光サービス 関西営業本部関西仕入センター所長 百田 耕三



農協観光 大阪オペレーションセンター国内仕入グループ長 福永 理香



ANAセールス 大阪支店西日本仕入販売部長 宇田川 芳一



JALツアーズ 本州四国企画仕入部関西・中国・四国グループ長 桜田 貴男



四国旅客鉄道 営業部商品企画課仕入長 六車 智和

全国的に観光、温泉地への宿泊客が減少している中で、四国全域も例外なく落ち込みが続いている。瀬戸内海という恵まれた自然を持ちながら、なぜさうなるのか、いまこそ四国観光は一体感で豊富な観光資源を売らねばならない。そのためには、何としても2次交通の整備が先決だといわれ、大手旅行業10社の担当者が集まり、大規模な座談会を開いた。



香川県琴平町の「琴平グランドホテル」桜の抄で

課題

「課題」。荒木 当社では切り口が他社と違うが個人旅行商品やキャンパーンの展開はせず、学生の修学旅行に注力している。平成18年度あたりから体験を取り込んだ旅行造成を行っているが、今年1月からは産産自然農産物体験などを盛り込んだ四国への修学旅行の取り組みをしている。来年度以降もこの取り組みを継続していくので今後期待したい。

「課題」。田辺 現在は当社では顧客の素材の発掘と四国周遊のハリポイントを増やして誘客に力を入れている。新しい観光

「課題」。西田 現在は当社では顧客の素材の発掘と四国周遊のハリポイントを増やして誘客に力を入れている。新しい観光

「課題」。沖本 現在は当社では顧客の素材の発掘と四国周遊のハリポイントを増やして誘客に力を入れている。新しい観光

「課題」。近藤 現在は当社では顧客の素材の発掘と四国周遊のハリポイントを増やして誘客に力を入れている。新しい観光

「課題」。百田 現在は当社では顧客の素材の発掘と四国周遊のハリポイントを増やして誘客に力を入れている。新しい観光

「課題」。荒木 現在は当社では顧客の素材の発掘と四国周遊のハリポイントを増やして誘客に力を入れている。新しい観光

「課題」。福永 現在は当社では顧客の素材の発掘と四国周遊のハリポイントを増やして誘客に力を入れている。新しい観光

「課題」。宇田川 現在は当社では顧客の素材の発掘と四国周遊のハリポイントを増やして誘客に力を入れている。新しい観光

「課題」。桜田 現在は当社では顧客の素材の発掘と四国周遊のハリポイントを増やして誘客に力を入れている。新しい観光

宿泊客増へどうするか

修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ

荒木 福永 近藤

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

「修学旅行に注力を 都市と農村の交流 道路整備欠かせぬ」。荒木 福永 近藤。各社が修学旅行の活性化を図り、都市と農村の交流を促進し、道路整備の重要性を訴えている。

——それにしても、宿泊がだ。

少ないのはなぜだと考えるか。——JRの四国の売り上げ状況は良いのか。車両はいいものなのか。

福永 宿泊をしないのは

橋の通行料金が高いからではないか。もつと多くの人に来てもらいたい岡山、広島からは来にくい。四国の人だと日帰り圏内なのでもちろん帰ってしまふ。

六車 車両のレベルは高いが、四国は人口が少ない。整えなくてはいけない。

近藤 他の地域のお客さまからみれば、四国は4つの県ではなくひとつの地域（四国）としてとらえられている。鳥取と島根が山陰としてのとらえ方として見られるのと同じだ。そういった視点から考

えると逆に4県の旅行商材の考え方を、空路からすると4県に空港があるわけだが、それぞれが純粋な観光路線ではなくビジネス路線の性格が強い。そのため、飛行機利用

5千円払うのか、ということ

るな面から今の四国はマイナ

要素があまりにも多すぎるとか、食の周遊のコラボレーションも面白いのではないかと

多いい関係で、今ひとつ話題性が劣る

の、売り方と宣伝活動がうまく活かせていないこと

も原因ではないかと思う。

また四国のゲートウェイを

面からだと割引率の問題が絡

2次交通の整備が先決

あり四国に行く方が高いのか。

あと、20代、30代の女性認知度アップにつながるのでは

桜田 競争原理ではない

に魅力をつかってももらえるよ

か。九州方面へは観光需要は

う、彼女たちの見ている雑誌

六車 レンタカーに乗っ

が料金だ。例えば首都圏から

もともと、ビジネス需要が高

に四国の魅力を載せていくな

整理できていない。

——土産を付けて売ると

知度を高める

取り組みとしかかというときに

て、四国の観で回れるほど環境が成熟でき

光地をどのよていない。ビギナー向け周遊

うに回ればよ

バスを提案して、

何か提案する

年かしたら、レンタカーを使

ったプランを紹介できるので

はないか。

——何としても2次交通の

整備が必要だ。整備と併せた